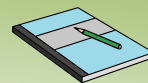


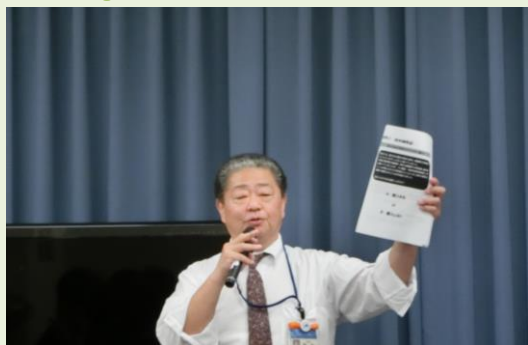
職員研修の様子



11月11日・19日、施設協会職員・スタッフ対象に職員研修が行われました。講義の後、各グループに分かれて話し合いをしました。どのグループも活発に意見交換が行われ、充実した研修になりました。

《受講者の声》

人権研修



講師：磯子区地域振興課施設推進担当 鈴木係長

人権問題は我が身に置きかえることで身近な問題になってくる、と思った。

「差別をされている人の痛み」にそっと寄り添ってみる」
「心の壁を溶かす」の講師の言葉が心に残った。

人の心には大なり小なりの偏見があるのだと思う。その偏見の気持ちに気づくことが大切だと学んだ。

ハンセン病のDVD鑑賞がとてもよかった。

いろいろな考えがあることに「気づく」ことが、まずは大切だね。



《受講者の声》

年に1度研修を受けることで、自分の知識を再確認できるのでとても良い。

業務に慣れてくると「ヒヤリハット」は必ずあるので細心の注意を払ったほうが良い、と思った。

個人情報が漏れることが無いよう職場に戻ったら話し合いたいと思った。

具体的な事例についての説明があり、分かりやすかった。講師の話も分かりやすかった。



講師：横浜市磯子センター 戸塚館長

個人情報の大切さを意識することが、なによりも必要なことだね。



磯子区区民利用施設協会では、研修を通し施設職員の知識・意識向上をはかり、利用者の皆様にとってよりよい施設運営ができるよう努めていきます！